

○昨年度から変更した点（下線）

○出石中学校区小中一貫教育の『めざす子ども像』を位置づけているもの（二重線）

平成31（令和元）年度 学校経営方針

1 校訓

強く 明るく うるわしく

2 学校教育目標

もう一つ上の自分に！

～ 笑顔あふれる弘道っ子 ～

3 平成31年度重点目標

自分から進んで ・ 最後まであきらめない

○強く・・・（体） 自ら進んで行動し、最後までねばり強く取り組む子

○明るく・・・（知） 明るく 積極的に学び、自分の考えを表現できる子

○うるわしく・・・（徳） ふるさとを愛し、誰とでも助け合える子

4 経営の基本方針

「あたまの力、こころの力、からだの力」バランスのとれた教育の実践

(1) あたまの力・・・確かな学力を身につけられるよう、思考する力・対話する力を培う

－ 自分の考えをもち、友だちの考えを聴き、練り合う児童へ！ －

（授業改善・授業の質の向上・・・主体的・対話的で深い学びへ）

【そのために】

□学びにひたる授業の実施・・・学ばせ方、空間・環境、人間関係、導入の工夫等

□全員が授業に参加でき、学ぶ喜びを感じることのできる授業の創造

□学習規律の徹底（聴く、姿勢〔背骨〕、学習ルール）

□授業における5つの「徹底・継続」実践事項の徹底

・「めあて」と「ふり返り」の質の向上

□自分の考えをもち、友だちの意見と比較しながら聴き、ずれについて話し合う（対話）

□コミュニケーション教育の推進

□読書活動の充実（チャレンジ50、PTAと連携した家読の家庭への啓発・推進

市立図書館の活用）

(2) こころの力・・・自尊感情を高めるとともに、相手の気持ちを察する心を培う

－ 自分が好き。誰とでも助け合える児童へ！ －

【そのために】

□褒めることを大切にしたい肯定的な関わり（褒める種を蒔く）

□一人一人の心に寄り添った関わり（いじめの早期発見とチームでの対応）

□道徳教育の充実（子どもの変容の記録）

□こころを目に見える形にする（行動や言葉に表す）

□地域との関わりを大切にする

□体験を通して学ぶ（直接体験、間接体験）

(3) からだの力・・・課題を明確にし、挑戦し、継続する力の育成

－ へこたれない、つよい児童へ！ －

【そのために】

- 運動と学習をセットにした豊岡モデルの推進（運動⇒きりかえ⇒集中）
- 豊岡市版小学校体育準備運動の継続実施
- 睡眠の重視（規則正しい生活習慣）…生活定着週間とのリンク
- 持続する力の育成（がまん・たえる・続ける・**自分の限界にチャレンジする**）

(4) 支援の要らない子は一人もいない（特別支援教育の充実）

－ 個に対する支援シートによる実態把握と具体的な支援！ －

【そのために】

- それぞれの子どもの特性への理解
- アセスメントと長期目標・中期目標・短期目標の設定
- ケース会議による具体的な取組の計画と評価
- チームで対応

(5) 歴史あるふるさと出石に誇りをもち、「出石が大好き」な子どもの育成

－ 出石のよさに気づき、発信！ －

【そのために】

- 出石の歴史、伝統文化、産業、自然環境と直接にふれ合える体験活動の展開
- 学びの足あとを残す（デジタル・ポートフォリオ）
- 地域素材の教材化、地域人材の活用（**ゲストティーチャー**）等、幅広い教育活動の展開
- ふるさと出石を愛し、自分の言葉でふるさと出石のよさを語る児童の育成

(6) いのちを大切にしたい安全・安心な取組の実施と教育環境づくり

－ ひとつしかないいのちを守る！ －

【そのために】

- 大切な自分のいのちは自分で守る力の育成
- 規範意識の醸成（こころにブレーキ）
- 安全・安心な教育環境の整備
- メモリアルデーを中心とした防災教育の推進

(7) 保護者や地域から信頼され、支えられる学校へ（内外に学校を開く）

－ 情報発信！ －

【そのために】

- 家庭や保護者、地域の声を真摯に受け止める（ひびき合う関係づくり）
- 「弘道っ子の元気」の発信（ホームページ・ブログ・学校便り・学級通信）
- 小中一貫教育の取組の推進と情報提供
- 関係機関や地域と連携した取組の推進